

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東洋医学概論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	是石芳宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
東洋医学的なものの見方、自然と人体の関係性など、資格取得および、その後の治療を行うために必要な基礎知識を学ぶ。 主な内容は、陰陽五行論、病因病機、五臓六腑、四診、弁証論治、他。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学概論』(東洋療法学校協会編) 配布プリントなど						
《授業外における学習方法》						
① 教科書、プリントを熟読する。 ② 日々の暮らしの中で、四季や天気による体調の変化を観察する。 ③ 気づいたこと、学んだことについて、クラスメイトなど、周囲のひとたちと話してみる。						
《履修に当たっての留意点》						
私語厳禁、不明点はその場で質問すること。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験、臨床における当該科目の重要性について述べられる。	テキスト、プリント	「何故学ぶのか」考える。 国家試験の内容に触れる。	
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション/東洋医学の概要について学ぶ。近年の東洋医学概論の国家試験問題を見て、三年後の到達点を見据える。			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	東洋医学の歴史、日本の鍼灸について説明できる。	テキスト、プリント	インターネットなどで、東洋医学に関する記事などを読み、興味・関心を深める。	
		各コマに おける 授業予定	東洋医学の沿革			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	東洋医学の基本理論である陰陽論について説明できる。	テキスト、プリント	身の周りの陰陽について考える。	
		各コマに おける 授業予定	陰陽論 I			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	東洋医学の基本理論である陰陽論について説明できる。	テキスト、プリント	身の周りの陰陽について考える。	
		各コマに おける 授業予定	陰陽論 II			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	東洋医学の基本理論である五行論について説明できる。	テキスト、プリント	身の周りの五行について考えてみる。	
		各コマに おける 授業予定	五行論 I			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学の基本理論である五行論について説明できる。	テキスト、プリント	身の周りの五行について考えてみる。
	各コマにおける授業予定	五行論Ⅱ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学での人体とその構成物質を説明できる。	テキスト、プリント	必要な語句をしっかりと暗記する。
	各コマにおける授業予定	小テスト/東洋医学における生体物質(精・気)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学での人体とその構成物質を説明できる。	テキスト、プリント	国家試験の該当部位を読読んでみる。
	各コマにおける授業予定	東洋医学における生体物質(血・津液)、生体物質の相互関係		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 8回目までの授業内容を理解し、覚えている。／五神最高位である神について説明できる。	テキスト、プリント	必要な語句をしっかりと暗記する。
	各コマにおける授業予定	小テスト/東洋医学における神とは／これまでの復習		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学における重要項目である五臓について学び、その個々の働きを説明できる。	テキスト、プリント	国家試験の該当部位を読読んでみる。
	各コマにおける授業予定	臓腑学説概要 ①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学における重要項目である五臓について学び、その個々の働きを理解する	テキスト、プリント	国家試験の該当部位を読読んでみる。
	各コマにおける授業予定	臓腑学説概要 ②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学における重要項目である五臓について学び、その個々の働きを説明できる。	テキスト、プリント	国家試験の該当部位を読読んでみる。
	各コマにおける授業予定	臓腑学説概要 ③		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 東洋医学における重要項目である五臓について学び、その個々の働きを理解の上、確実に暗記する。／六腑についてその働きを説明できる。	テキスト、プリント	必要な語句をしっかりと暗記する。
	各コマにおける授業予定	小テスト/ 臓腑学説概要 ④		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 六腑についてその働きを説明できる。	テキスト、プリント	国家試験の該当部位を読読んでみる。
	各コマにおける授業予定	臓腑学説概要 ⑤		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容について理解し、「可」以上の評価を得る。	テキスト、プリント	理解度の確認を行い、復習する。
	各コマにおける授業予定	評価・まとめ・ふりかえり		